

プログラム

8:50~9:00

開会の辞

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

【当番世話人】斎藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科)

9:00~9:38

口演 1

分子標的治療のCR/PR例, long SD例

【座長】市田 隆文 (湘南東部総合病院)

松田 政徳 (山梨大学医学部 第一外科)

01-1 ソラフェニブ治療にてCR、PR、longSD (1年以上SD以上) が得られた進行肝細胞癌症例の検討

名古屋大学 消化器内科

○葛谷 貞二、石上 雅敏、安田 諭、川口 彩、加藤 幸一郎、新家 卓郎、今井 則博、阿知波 宏一、山田 恵一、石津 洋二、本多 隆、林 和彦、石川 哲也、後藤 秀実

01-2 分子標的治療薬のCR/PR例の特徴と経過

兵庫医科大学 肝胆膵内科 超音波センター¹、兵庫医科大学 肝胆膵内科²、兵庫医科大学 超音波センター³

○田中 弘教¹、青木 智子²、橋本 健二¹、柴田 陽子³、中野 智景³、長谷川 国大²、高田 亮²、楊 和典²、石井 昭生²、高嶋 智之²、坂井 良行²、會澤 信弘²、池田 直人²、岩田 恵典²、榎本 平之²、齋藤 正紀²、西口 修平²、飯島 尋子¹

01-3 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療における長期生存例の検討

北里大学医学部 消化器内科学¹、伊勢原協同病院 消化器科²

○山根 敬子¹、中澤 貴秀¹、日高 央¹、奥脇 裕介¹、田中 賢明¹、高田 樹一¹、南野 勉¹、小野 弘二²、渋谷 明隆¹、小泉 和三四¹

01-4 Sorafenib 開始後、3年以上生存例の特徴

公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器肝臓内科

○小尾 俊太郎、佐藤 新平、河井 敏宏、石井 政嗣、杉本 貴史、八島 陽子、菅田 美保、佐藤 隆久

01-5 低分化型肝細胞癌切除後早期の肝内外の広汎な再発に対してソラフェニブ単独治療が奏効し、2年以上継続投与中の症例

山梨大学 第一外科

○松田 政徳、雨宮 秀武、渡邊 光章、川井田 博充、河野 寛、藤井 秀樹

9:40~10:06

口演 2

STORM 試験後の治療戦略

【座長】國土 典宏 (東京大学医学部 肝胆膵・人工臓器移植外科)

田中 正俊 (ヨコクラ病院 内科)

02-1 進行肝細胞癌再発高危険群に対する術後補助療法の導入と有害事象対策

京都大学 肝胆膵・移植外科 皮膚科

○波多野 悦朗、松村 由美、瀬尾 智、田浦 康二郎、安近 健太郎、新田 隆士、森 章、岡島 英明、海道 利実、上本 伸二

02-2 ソラフェニブ投与後長期生存例の検証 ～切除を含む集学的治療の重要性～

徳島大学 消化器・移植外科¹、徳島県立中央病院 消化器科²、徳島市民病院 外科³

○山田 眞一郎¹、齋藤 裕¹、岩橋 衆一¹、荒川 悠佑¹、池本 哲也¹、居村 暁¹、森根 裕二¹、柴田 啓志²、三宅 秀則³、島田 光生¹

02-3 進行肝細胞癌に対する Sorafenib 導入後の外科的治療介入の有用性

熊本大学 消化器外科¹、熊本大学 消化器内科²

○武山 秀晶¹、新田 英利¹、甲斐田 剛圭¹、東 孝暁¹、中川 茂樹¹、岡部 尚弘¹、林 洋光¹、橋本 大輔¹、近本 亮¹、石河 隆敏¹、田中 基彦²、佐々木 裕²、別府 透¹、馬場 秀夫¹

10:07~10:25

口演 3

TACE 不応と分子標的治療

【座 長】高山 忠利（日本大学医学部 消化器外科）

03-1 BCLC Intermediate stage におけるソラフェニブの役割

自治医科大学 消化器・肝臓内科

○森本 直樹、磯田 憲夫、渡邊 俊司、大竹 俊哉、宮田 なつ美、津久井 舞未子、村山 梢、廣澤 拓也、岩下 ちひろ、高岡 良成、山本 博徳

03-2 TACE 不応・不能症例における集学的治療戦略

武蔵野赤十字病院 消化器科

○土谷 薫、中西 裕之、安井 豊、樋口 麻友、権藤 興一、高田 ひとみ、中嶋 奈津子、松田 秀哉、浅野 侑、玉城 信治、鈴木 祥子、細川 貴範、板倉 潤、高橋 有香、黒崎 雅之、泉 並木

10:25~11:40

共催シンポジウム

TACE 不応の定義により肝癌の治療はどう変わったか

【司 会】大崎 往夫（大阪赤十字病院 消化器科）

田中 克明（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器内科）

【ディスカッサー】土谷 薫（武蔵野赤十字病院 消化器科）

近藤 正晃（横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター）

森本 直樹（自治医科大学 消化器・肝臓内科）

【共 催】バイエル薬品株式会社

SS-1 cTACE の現状・限界と TACE 不応の定義

－ DEB-TACE の位置付けも含めて－

福井県済生会病院 放射線科

宮山 士朗

SS-2 TACE 不応後のソラフェニブと TACE の比較

千葉大学医学部 消化器・腎臓内科 臨床腫瘍部

小笠原 定久

SS-3 TACE 不応後のソラフェニブと肝動注化学療法との比較

独立行政法人 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

池田 公史

11:50~12:40

ランチョンセミナー

ビーズ導入後の肝動脈化学塞栓療法の進化

【司 会】池田 健次 (虎の門病院 消化器科)
【共 催】エーザイ株式会社

LS-1 内科の立場から

虎の門病院 肝臓センター内科
川村 祐介

LS-2 外科の立場から

東京女子医科大学 消化器外科
高橋 豊

12:50~13:50

特別講演

【司 会】小池 和彦 (東京大学医学部 消化器内科)
齋藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科)
【共 催】日立アロカメディカル株式会社

Genomics of liver tumors: from mechanism of malignant transformation to therapeutic targets

University Paris Descartes, The Inserm Unit "Functional Genomic of Solid Tumors"
Jessica Zucman-Rossi, MD, PhD

13:50~14:10

宿題報告

【司 会】金子 周一 (金沢大学大学院医学系研究科 恒常性制御学)
溝上 雅史 (国立国際医療センター 肝炎・免疫研究センター)

ソラフェニブ著効例のバイオマーカーその後

近畿大学医学部 ゲノム生物学
西尾 和人

14:20~15:20

ポスターセッション A

分子標的治療の基礎と臨床応用

【座 長】有井 滋樹 (浜松労災病院)
坂元 亨宇 (慶応義塾大学医学部 病理学)

P1-1 ASPH 阻害剤の肝細胞癌に対する前臨床試験

東京医科歯科大学 肝胆膵・総合外科¹、東京医科歯科大学 分子腫瘍医学²
○藍原 有弘¹、田中 真二²、田邊 稔¹

P1-2 肝細胞癌に対する Polo-like kinase を標的とした治療の可能性

高知大学 外科学¹、高知大学医学部 病理学講座²
○竹崎 由佳¹、末岐 浩一郎¹、小山内 誠²、宗景 匡哉¹、北川 博之¹、花崎 和弘¹

P1-3 血清糖鎖マーカーによるソラフェニブ治療効果および予後予測の可能性

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学¹、

北海道大学大学院 先端生命科学研究院 先端融合科学研究部門 新薬探索研究分野²

○足立 卓哉¹、能祖 一裕¹、宮原 孝治¹、土肥 千紘¹、森本 裕貴¹、衣笠 秀明¹、和田 望¹、竹内 康人¹、大西 秀樹¹、中村 進一郎¹、白羽 秀則¹、天野 麻穂²、西村 紳一郎²、高木 章乃夫¹、山本 和秀¹

P1-4 A Phase I, open-label, non-randomized trial of OPB-31121, a STAT3 inhibitor, in patients with advanced hepatocellular carcinoma

がん研有明病院¹、国立がん研究センター中央病院²、国立がん研究センター東病院³、千葉大学医学部附属病院⁴、大塚製薬株式会社⁵、周南記念病院⁶

○尾阪 将人¹、石井 浩¹、奥坂 拓志²、上野 秀樹²、池田 公史³、光永 修一³、横須賀 収⁴、大岡 美彦⁵、吉本 亮⁵、柳原 康夫⁵、沖田 極⁶

P1-5 EOB-MRIによるWnt/ β -catenin activated subtype HCCの検出能に関する検討

国立病院機構埼玉病院放射線科¹、慶應義塾大学医学部病理学教室²、慶應義塾大学医学部放射線診断科³、慶應義塾大学医学部一般・消化器外科⁴

○上野 彰久^{1,2,3}、真杉 洋平²、山崎 剣²、Kathryn Effendi²、辻川 華子²、谷本 伸弘³、奥田 茂男³、板野 理⁴、北川 雄光⁴、陣崎 雅弘³、坂元 亨宇²

P1-6 生検でc-kit陽性を確認し“分子標的”薬ソラフェニブを投与し、高い治療効果を得たc-kit強陽性肝癌の一例

新潟大学医歯学総合病院消化器内科¹、県立新発田病院消化器内科²、県立新発田病院放射線科³、県立新発田病院病理科⁴

○清野 智¹、土屋 淳紀¹、瀧澤 一休²、岡 宏充²、坪井 清孝²、青木 洋平²、山崎 和秀²、松澤 純²、夏井 正明²、清野 康夫³、若木 邦彦⁴、渡邊 雅史²、野本 実¹、寺井 崇二¹

P1-7 5-FUによる肝線維化増悪因子TGF β 1の発現制御とSorafenibの効果

東邦大薬・病態生化学教室¹、東邦大理・生物分子科学科・分子医学部門²、

東邦大薬・医療薬学教育センター・臨床薬学研究室³、東邦大医療セ・大森病院消化器内科⁴

○和田 美希^{1,2}、松井 睦¹、桧貝 孝慈¹、松尾 和廣³、柳内 和幸²、多田 周右¹、永井 英成⁴

ポスターセッションB

副作用と合併症（症例報告）

【座 長】飯島 尋子（兵庫医科大学 内科学肝胆膵科・超音波センター）

P2-1 ソラフェニブにより横紋筋融解症をきたした1例

山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学¹、山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野²

○田邊 規和¹、佐伯 一成¹、花園 忠相¹、日高 勲¹、寺井 崇二¹、山崎 隆弘²、坂井田 功¹

P2-2 ソラフェニブによる薬剤性肺障害が疑われた1例

豊橋市民病院 消化器内科

○山本 健太、浦野 文博、内藤 岳人、藤田 基和、山田 雅弘、山本 英子、松原 浩、鈴木 博貴、芳川 昌功、片岡 邦夫、木下 雄貴、飛田 恵美子、山本 和弘、岡村 正造

P2-3 Sorafenib投与中に症候性の急性膵炎を発症した1例

国立病院機構 四国がんセンター

○浅木 彰則、日野 佳織、上杉 和寛、灘野 成人

P2-4 進行肝細胞癌に対してソラフェニブ内服中に発症した右耳介有棘細胞癌の1例

鳥取大学医学部機能病態内科学

○程塚 正則、孝田 雅彦、岡本 敏明、三好 謙一、藤瀬 幸、的野 智光、杉原 誉明、法正 恵子、岡野 淳一、村脇 義和

ポスターセッション B

他疾患の合併・併存（症例報告 他）

【座 長】岡 博子（医療法人成和会ほうせんか病院）

P3-1 ソラフェニブ治療を行った混合型肝癌の 3 症例

富山大学附属病院第三内科

○田尻 和人、吉田 雅、小林 才人、河合 健吾、峯村 正実、高原 照美、杉山 敏郎

P3-2 慢性リンパ球性白血病に併発した乳房 Paget 病，肝細胞癌の治療経験

国立病院機構東京医療センター外科¹、国立病院機構東京医療センター臨床検査科²

○浦上 秀次郎¹、菊池 弘人¹、西原 佑一¹、川口 義樹¹、徳山 丞¹、大住 浩司¹、石 志紘¹、島田 敦¹、松井 哲¹、大石 崇¹、村田 有也²、白石 淳一²、磯部 陽¹

P3-3 PD にてソラフェニブ投与中止後、急速な進行を認めた肝細胞癌の 1 例

鳥取大学医学部附属病院機能病態内科学

○岡本 敏明、孝田 雅彦、程塚 正則、三好 謙一、藤瀬 幸、的野 智光、杉原 誉明、法正 恵子、岡野 淳一、村脇 義和

P3-4 進行肝細胞癌合併肝硬変症例に対するソラフェニブ投与の肝線維化と門脈血流改善の可能性

東邦大学医療センター大森病院消化器内科¹、東邦大学薬学部臨床薬学²、東邦大学薬学部病態生化学³

○松井 太吾¹、永井 英成¹、向津 隆規¹、荻野 悠¹、松井 哲平¹、和久井 紀貴¹、靄山 浩一¹、篠原 美絵¹、五十嵐 良典¹、住野 泰清¹、松尾 和廣²、松貝 孝慈³

ポスターセッション C

高齢者に対する投与効果と安全性

【座 長】島田 光生（徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 消化器・移植外科学）

P4-1 高齢者の進行肝細胞癌に対する当院でのソラフェニブ治療の成績

近畿大学 消化器内科

○有住 忠晃、上嶋 一臣、南 知宏、千品 寛和、河野 匡志、田北 雅弘、北井 聡、矢田 典久、萩原 智、南 康範、櫻井 俊治、西田 直生志、工藤 正俊

P4-2 後期高齢者肝細胞癌症例に対するソラフェニブ治療

愛媛県立中央病院消化器病センター内科¹、愛媛県立中央病院消化器病センター外科²

○平岡 淳¹、相引 利彦¹、奥平 知成¹、年森 明子¹、川村 智恵¹、山子 泰加¹、中原 弘雅¹、須賀 義文¹、畔元 信明¹、宮田 英樹¹、宮本 安尚¹、二宮 朋之¹、河崎 秀樹²、道堯 浩二郎¹

P4-3 高齢者進行肝がん症例に対する分子標的治療薬の有効性を目指して

奈良県立医科大学 第三内科（消化器・内分泌代謝内科）

○守屋 圭、吉治 仁志、堂原 彰敏、野口 隆一、浪崎 正、北出 光輝、竹田 幸祐、瓦谷 英人、大倉 康志、西村 典久、相原 洋祐、佐藤 慎哉、美登路 昭、福井 博

P4-4 ソラフェニブ 400mg 開始の有効性と安全性について： 多施設共同研究における Propensity score-matched analysis

神奈川県立がんセンター消化器内科¹、横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター²、

北里大学東病院消化器内科³、聖マリアンナ医科大学消化器肝臓内科⁴、

横浜市立大学附属市民総合医療センター臨床統計学⁵、京都大学医学統計生物情報学⁶

○小林 智¹、森本 学¹、沼田 和司²、近藤 正晃²、大川 伸一¹、日高 央³、中澤 貴秀³、奥脇 裕介³、奥瀬 千晃⁴、松永 光太郎⁴、鈴木 通博⁴、森田 智視^{5,6}、田栗 正隆⁵、田中 克明²

ポスターセッション C

分子標的薬の投与方法

【座長】石井 浩 (がん研究会 有明病院 消化器内科)

P5-1 切除不能肝細胞癌に対するソラフェニブ療法における 体重当たり一日平均投与量に関する検討

大阪赤十字病院消化器内科

○遠藤 正嗣、丹家 元祥、佐田 遼大、丸井 彩子、福原 学、大原 芳草、松田 史博、中島 潤、坂本 梓、邊見 慎一郎、齋藤 澄夫、西島 規浩、那須 章洋、西川 浩樹、米門 秀行、喜多 竜一、木村 達、大崎 往夫

P5-2 当科におけるソラフェニブの治療成績と学習効果

金沢大学附属病院 消化器内科

○北原 征明、荒井 邦明、堀井 里和、砂子阪 肇、山下 竜也、金子 周一

P5-3 進行性肝癌に対する TACE・ネクサバールの Combination Therapy の有効例の検討

湘南藤沢徳洲会病院肝胆膵センター

○清水 弘仁、松井 圭司、藤川 智章、高塚 健太郎、岩渕 省吾

ポスターセッション D

高度進行肝癌における奏効例 (症例報告)

【座長】日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆膵内科学)

長谷部 千登美 (旭川赤十字病院 消化器内科)

P6-1 ソラフェニブと放射線治療により切除可能となった 両葉多発肺転移、門脈・下大静脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌の一例

京都大学 肝胆膵・移植外科

○北嶋 俊寛、波多野 悦朗、田浦 康二郎、藤本 康弘、水本 雅己、上本 伸二

P6-2 門脈腫瘍塞栓、下大静脈浸潤、右房内浸潤、肺転移を認めた 肝細胞癌に対してソラフェニブと TACE による併用治療が奏功した一例

新小倉病院 肝臓病センター

○谷本 博徳、山下 信行、野村 秀幸

P6-3 分子標的薬を含む集学的治療により、長期生存している 2 例

東京大学肝胆膵外科

○山本 訓史、山本 雅樹、國土 貴嗣、西岡 裕次郎、宮田 陽一、山下 俊、河口 義邦、赤松 延久、有田 淳一、金子 順一、阪本 良弘、菅原 寧彦、長谷川 潔、國土 典宏

P6-4 肝細胞癌、多発腹膜播種に対し副作用なく長期生存をえた高齢者の一例

日本大学消化器外科

○梶原 崇弘、森口 正倫、檜垣 時夫、中山 壽之、緑川 泰、山崎 慎太郎、大久保 貴生、青木 優、高山 忠利

P6-5 集学的治療により初発から 14 年、ソラフェニブ開始から 3 年の長期生存が得られている肝細胞癌の 1 例

帝京大学医学部 内科¹、帝京大学医学部 病理²

○高森 頼雪¹、安達 運¹、三浦 幸太郎¹、三浦 亮¹、有住 俊彦¹、相磯 光彦¹、田中 篤¹、滝川 一¹、新谷 裕加子²、高橋 芳久²、近藤 福雄²

ポスターセッション D

遅発性奏効例と早期反応例（症例報告）

【座長】能祖 一裕（岡山大学分子肝臓病学消化器内科）

- P7-1 ソラフェニブが投与 3ヶ月目から著効した
腫瘍径 15cm 門脈腫瘍栓合併塊状型肝細胞癌の 1 例
東京女子医科大学 消化器外科¹、東京女子医科大学 消化器内科²
○山下 信吾¹、片桐 聡¹、高橋 豊¹、大森 亜紀子¹、尾形 哲¹、樋口 亮太¹、谷澤 武久¹、植村 修一郎¹、小寺 由人¹、
有泉 俊一¹、江川 裕人¹、山本 雅一¹、斎藤 明子²
- P7-2 TACE 不応肝内多発肝細胞癌に対して開始 6ヶ月後にソラフェニブが奏効した一例
大阪大学 消化器外科¹、大阪大学 周手術期管理学²
○和田 浩志¹、江口 英利¹、友國 晃¹、富丸 慶人¹、浅岡 忠史¹、川本 弘一¹、丸橋 繁¹、梅下 浩司²、土岐 祐一郎¹、
森 正樹¹、永野 浩昭¹
- P7-3 ソラフェニブの長期内服により遅発性奏効が得られた肝細胞癌肺転移の 1 例
川崎医科大学肝胆膵内科学
○富山 恭行、吉岡 奈穂子、小山 展子、仁科 惣治、原 裕一、日野 啓輔
- P7-4 新規分子標的薬が著効し興味深い経過を示した肝細胞癌の 1 例
大阪赤十字病院消化器内科
○西島 規浩、遠藤 正嗣、大原 芳草、坂本 梓、斎藤 澄夫、那須 章洋、西川 浩樹、米門 秀行、喜多 竜一、木村 達、
大崎 往夫

ポスターセッション E

ソラフェニブと動注化学療法

【座長】山下 竜也（金沢大学医学部 消化器内科）
黒川 典枝（山口労災病院 消化器科）

- P8-1 肉眼的脈管侵襲を有する進行肝細胞癌に対する New FP 療法と Sorafenib の比較
久留米大学病院消化器内科
○新関 敬、中野 聖士、黒松 亮子、住江 修治、田尻 能祥、相野 一、下瀬 茂男、佐谷 学、岡村 修裕、鳥村 拓司
- P8-2 進行肝細胞癌に対してソラフェニブと抗癌剤肝動注療法の
どちらを先行させるのがよいか？
国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科、臨床研究センター
○和田 幸之、高見 裕子、立石 昌樹、龍 知記、御鍵 和弘、才津 秀樹
- P8-3 Sorafenib Failure に対する IFN 併用 5FU 動注療法の成績
佐々木研究所附属 杏雲堂病院 消化器肝臓内科
○佐藤 新平、河井 敏宏、石井 政嗣、杉本 貴史、八島 陽子、菅田 美保、小尾 俊太郎
- P8-4 ソラフェニブ不応後のシスプラチン肝動注化学療法の有効性と安全性の検討
国立がん研究センター東病院薬剤部¹、国立がん研究センター東病院肝胆膵内科²、
国立がん研究センター東病院消化器内科³
○小林 美沙樹¹、篠原 旭¹、宇田川 涼子¹、市田 泰彦¹、高橋 邦雄¹、梅本 久美子²、渡邊 一雄²、橋本 裕輔³、
奥山 浩之²、高橋 秀明²、清水 怜²、大野 泉²、光永 修一²、池田 公史²、齋藤 真一郎¹

ポスターセッション E

肝外転移に対する効果

【座長】熊田 卓（大垣市民病院 消化器科）

- P9-1 肝外転移を有する進行肝細胞癌における予後因子の検討
公立八女総合病院 肝臓内科¹、久留米大学 消化器内科²
○永松 洋明¹、小野 典之¹、鳥村 拓司²

P9-2 肝外転移例での分子標的薬の有効性と生命予後の検討

兵庫医科大学 超音波センター¹、兵庫医科大学 内科 肝胆膵科²

○青木 智子^{1,2}、中野 智景¹、田中 弘教^{1,2}、橋本 健二¹、高嶋 智之²、會澤 信弘²、池田 直人²、岩田 恵典²、榎本 平之²、斉藤 正紀²、西口 修平²、飯島 尋子^{1,2}

P9-3 肝細胞癌に対する Sorafenib 治療は TACE 不応と肝外転移ではどちらが有効となり得るか？

東京女子医科大学 消化器外科¹、東京女子医科大学 消化器内科²

○片桐 聡¹、高橋 豊¹、山下 信吾¹、大森 亜紀子¹、尾形 哲¹、小寺 由人¹、有泉 俊一¹、江川 裕人¹、山本 雅一¹、斎藤 明子²

ポスターセッションF

長期生存例の検討

【座 長】古瀬 純司 (杏林大学医学部 腫瘍内科)
黒松 亮子 (久留米大学医学部消化器内科)

P10-1 ソラフェニブ導入後長期生存例の検討

大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学

○打田 佐和子、寺西 優雅、飯田 綾子、小田桐 直志、小塚 立蔵、元山 宏行、川村 悦史、萩原 淳司、岩井 秀司、森川 浩安、榎本 大、村上 善基、田守 昭博、河田 則文

P10-2 ソラフェニブ内服後集学的治療にて長期生存が得られた5例の検討

旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科¹、旭川赤十字病院 消化器内科²、旭川厚生病院 消化器科³、

旭川医科大学 臨床消化器・肝臓学診療連携講座⁴

○澤田 康司¹、長谷部 千登美²、阿部 真美²、斉藤 義徳³、長谷部 拓夢¹、中嶋 駿介¹、大竹 孝明⁴、藤谷 幹浩¹、高後 裕¹

P10-3 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療における長期生存例の検討

岐阜市民病院消化器内科

○渡部 直樹、西垣 洋一、林 秀樹、鈴木 祐介、渡邊 諭、渡邊 千晶、小島 健太郎、中島 賢憲、小木曾 富生、川出 尚史、向井 強、杉山 昭彦、加藤 則廣、富田 栄一

P10-4 当院における進行肝細胞癌に対するソラフェニブの治療成績—特に腫瘍マーカーと投与期間との相関についての検討—

横浜市立市民病院

○角田 裕也、藤田 由里子、福田 知広、伊藤 剛、今村 諭、田村 寿英、長久保 秀一、諸星 雄一、小池 祐司、小松 弘一

P10-5 ソラフェニブ長期投与症例の検討

大垣市民病院 消化器内科

○多田 俊史、熊田 卓、豊田 秀徳、桐山 勢生、谷川 誠、久永 康宏、金森 明、北畠 秀介、山 剛基、伊藤 隆徳、長谷川 綾平、颯田 祐介、横山 晋、杉山 由晃

ポスターセッションF

長期生存例、奏効例（症例報告）

【座 長】石川 哲也 (名古屋大学医学部 消化器内科)

P11-1 ソラフェニブに TACE を併用し、長期生存中の肝細胞癌の 1 例

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

○奥野 奈央、野登 はるか、沖津 篤、田村 優子、塩原 康正、鈴木 大輔、松島 昭三、小松 達司

P11-2 ソラフェニブ投与開始後 2 年以上生存中の 3 例

静岡県立総合病院外科

○大場 範行、金本 秀行、京田 有介、高橋 道郎、高木 正和

P11-3 短期間の Sorafenib 投与が肝細胞癌縦隔リンパ節転移からの気管支浸潤、肺静脈腫瘍栓に有効であった 1 例

順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科

○甘楽 裕徳、玄田 拓哉、村田 礼人、佐藤 俊輔、金光 芳生、成田 諭隆、石川 幸子、菊池 哲、飯島 克順、永原 章仁

15 : 30 ~ 17 : 00

特別企画

肝細胞癌の臨床試験はなぜ上手くいかないのか

【司 会】工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

沖田 極 (下関厚生病院)

肝細胞癌の新薬開発の現況と展望

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

奥坂 拓志

肝細胞癌の臨床試験：Endpoint と Trial Design への問題提起

近畿大学 消化器内科

上嶋 一臣

Personalized Medicine に向けての新しい統計解析法： Enrichment Analysis による患者層の特定化

北里大学薬学部臨床医学 臨床統計学・医薬開発学

竹内 正弘

肝細胞癌の新薬承認を巡る諸問題： 本邦における臨床試験計画の留意点

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA)

寺島 健志

特別発言

日本赤十字社医療センター

幕内 雅敏

17 : 00 ~

閉会の辞

【当番世話人】斎藤 明子 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器内科)

【次回当番世話人】日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆膵内科学)